西部中ブロック

母親委員会だより

平成２２年７月

第１号松山小学校

1学期も残りわずかとなりました。もうすぐ子供達が待ちに待った夏休み、皆様のご家庭でもいろいろと楽しい計画をされていることでしょう。
さて、西部中ブロック母親委員も無事30名の顔合わせがすみ活動をスタートさせました。
今後さまざまな講演会や研修に参加し、他校との交流で得た
貴重な体験をできるだけ多くの皆様にお伝えできればと思っています。
一年間どうぞ宜しくお願い致します。

〔母親委員会組織図〕

春日井市小中学校PTA連絡協議会（市P連）

ブロック代表　母親委員会（12名）
（企画・運営）

運営委員会（各小中学校母親委員長54名）
（連絡・運営）

西部中ブロック母親委員会
（情報交換）

牛山小学校	松山小学校	春日井小学校	西部中学校
☆A	§A	§A	§A
B	B	B	B
C	C	C	C
D	D	D	D
E	E	E	E
F	F	F	F
G	G	G	G
			H
			I

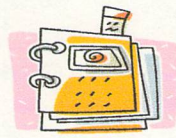
§：委員長
☆：ブロック長

西部中ブロック母親委員会総会

『子供達をとりまく教育や環境』

日時：5月27日（木曜日）
場所：牛山小学校生涯教室
講師：原　洋一先生（牛山小学校

めまぐるしく変化する教育や環境、子供達は日々さまざまな対応を迫られています。
今回はスライドを使用し、西部中ブロックの歴史をはじめ各地域の特徴や昔話も交えながら楽しくお話して頂きました。私たちの記憶に新しい『ゆとり教育』という問題、
今いちど、見直し考えてみようとの関心が高まっているのも事実です。
改革が求められる現代、より大人が子供に目を向け確かな道標となれるよう
愛情を持って接していきたいと思います。



母親委員会運営委員会

～世界がもし100人の村だったら～

日時：6月23日（水曜日）
場所：東部市民センター大ホール
講師：池田　香代子氏（世界平和アピール七人委員会メンバー）

TV等でみなさんもご存じの方は多いと思います。
『100人村基金』を設立しさまざまな地域で支援活動を行っています。
世界平和を強くアピールし最も心配されていた事は子供達の将来・社会の行末です。
今の子供はダメだ～と大人が口にするのをよく聞きます。
しかしこの言葉をそのまま子供は信じてしまうのです。
言わば大人が子供をダメにしてしまっている。
そういう子供を作りあげている。これは大変恐ろしい事だと思いませんか？
世界中の子供達があふれんばかりの夢と希望を持ち、
光ある未来が約束される事を祈るばかりです。
今回の講演でいかに私達が恵まれ幸せであるか改めて
認識し感謝の気持ちが必要だと思いました。

KASUGAI 父母と教師の教育を語る会（教育対話集会）

～今いちど【命の大切さ】について考える～

『笑って考えよう！！日常の中にある人種』

～わたしの出会った子どもたち～

日時：6月26日（土曜日）
場所：春日井市総合体育館
講師：石崎　豊氏
（切磋亭琢磨/社会人落

教師生活30年目にして早期退職し、教壇から高座へと鞍替えした
『社会人落語家』というユーモアな経歴を持つだけあり、
教育時代に培った鋭い視点・妻の看病・一人親としての子育て・
主夫体験など、驚きと感動の連続でした。

～親と子とは？～
1.親は子の短所を言いたがる→長所をあたりまえだと思っているから
2.宗教を持つ親の子は優しい→どんな宗教も感謝の気持ちを大切にしているから
（言いかえれば感謝の気持ちを持った親の子は優しい）
3.子供は親に似る→親の背中を見て育つ
4.子供は未来に向かっている→どんな可能性も無限大

『正直で素直』
何よりも子供にとって一番大切な事です。
最近は何気ない当たり前の事を私達、親一人一人がより考えるべきではないでしょうか？
命の大切さはもちろんの事、子供だけでなく親自身共に成長しながら確かな
親子関係を築いていきたいものです。